

木々に包まれる緑の杜
子どもの笑い声
日々生まれる技術
いにしえから紡いできた伝統

時を超えて
日々の営みが
交錯するわがまちに
あたらしい光が降り注ぐ

木津川アート2023「みらいとあそぼ」

 木津川アート2023
works
作品

西村 怜奈 Nishimura Rena

銀河系太陽系地球アジア日本京都府木津川市梅美台 8 丁目 2-3 芝生広場

立体

モノにも魂が宿る。

建物や電車が人間の世界を見ていたらどう思うのだろう？

人間の社会が変わり、建物が壊されたり、今までと違う用途に使用されたりした時、人間をどう見るのか。人間同士は仲違いしていても、お家同士は友だちかも。私たちは敷地や、街、いろんな線をつけるけれども、モノには線がないと思う。壮大な銀河の中の太陽系の地球のアジアの日本の京都府の木津川市の今のモノたちを、私が見た目線をモノが見た今に置き換え、今の木津川市を私の中の空想も含めて作品にしました。木津川市民の皆さま、初めて木津川市へ訪れた皆さまにも楽しんでいただけると嬉しいです。



制作協力：抱月工業株式会社、山城織物協同組合

展示場所 ① 抱月工業株式会社

外磯秀紹 Tonoiso Hidetsugu

1 人・空

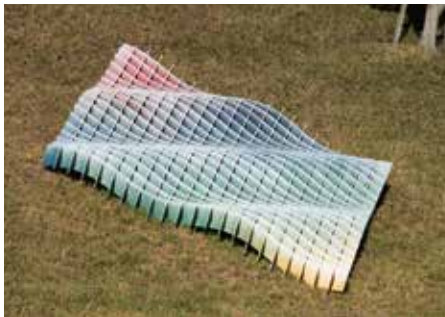
2 KAZENOFUKUTOKORO

3 Sine

4 NAMINOKATATI

立体造形

作品は波の形を元に立体構成しています。水面や音、光の形がモチーフです。複雑で緻密、壮大な自然の造形物を単純な形、単調な曲線で表現する試みです。自然界の正確で秩序のある形はどうやって造られたのかとも不思議で理解できませんが、制作することにより形の振動(リズム)を感じることが出来ます。



1



2



3



4

安藤英由樹 Ando Hideyuki

木津川にあるサッカードisplay (2023)

メディアアート



目が動いたときだけ、映像が見えるサッカードisplayを使って、木津川のむかし、現在、未来に関連した映像が映し出されています。左右にキョロキョロしたり、振り返ったり、頭をふったりすると映像が見えてきます。そのイメージは木津川のイメージについてアートミーティングのメンバー、Web、ChatGPTなどから集めて制作しました。何がみえますか？みえたものがどう木津川に関係するのか考えてみるのもいいかもしれません。

展示場所 ③ きつづ光科学館ふおとん

吹雪大樹・テクマク Fubuki Taiju・Tekumac

どこにでもあるけど、ここにしかない

写真

「地元の人が見逃しがちな木津川市の魅力を撮影してください!」というお題を引き受けましたが、見逃すどころか木津川市のコトはほとんど何も知らない私たち夫婦。それならば!地域の皆さんが見慣れている風景から私たちが魅力的だと感じるものを写してみようということになりました。それはきっと、どこにでもあるけどここにしかないものなんです。



制作協力：磯矢硝子工業株式会社

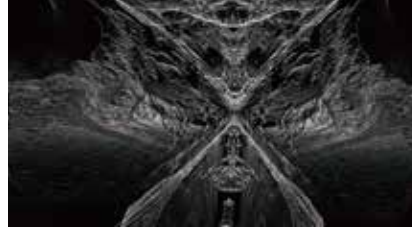
展示場所 ③ きつづ光科学館ふおとん

MADD. Madd.

メディアアート

脇田玲 Wakita Akira postoperative

8年前に悪性腫瘍を患った作者の脇田は、定期的に腹部の断層映像(CTスキャン)を撮り溜めてきました。本作は手術直後のCT画像を三次元再構成し、3分間のドーム型映像にしたものです。再発や転移への不安を可視化するかのよう、身体の形状は徐々に悪魔的な建築物へと変化していきます。



糸屋覚 / 分部康仁 / Hisham Akira Bharoocha Itoya Satoru / Wakebe Yasuhito / Hisham Akira Bharoocha Beyond the Dark

遙か昔より続く地球の呼吸
時空を超えるトンネルの先に広がる自然の神秘
実写映像での立体表現を追い求めた2人の撮影監督が、
8K・11K高解像度で描写した日本の四季
暗闇のその先へ



ゆはらかずき Yuhara Kazuki Canaria

老いてくカナリアは、太陽に憧れて、宇宙へと飛び立ってゆく。
炎を纏い、復活したカナリアは、再生の歌を歌うのだった。



河野円 / 佐藤亮爾 / 富金原真慈 / 朝倉行宣 Kohno Madoka / Sato Ryoji / Fukinbara Shinji / Asakura Gyousen 讃仏偈 (サイバー南無南無 remix)

讃佛偈は、法蔵菩薩が自分の師である仏様の光輝く姿を讃えたお経です。ガンジス川の砂の数ほど世界を光で照らす仏様。法蔵菩薩は、自身もこのような仏になりたいと願い述べた詩文(偈頌)です。数限りない世界と光を16K超高解像度映像で表現できないか挑戦しました。また、本作品は心理テストとSNSが連動しており、多くの方の想いを数値化してシステムの中に取り入れる事で、自分の力では制御できない映像生成システムにしています。これにより、自分の想像を超える世界観を表現することにも挑戦しています。



この場をお借りして、一緒に制作してくださったクリエイターの方々、Twitterで参加してくださった皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

井藤雄一 Ito Yuichi Your Room

コロナ禍のせいで自分の部屋で作業することが多くなった。学校や職場とは異なり、緊張感が緩むせいか、集中していると慣れ親しんだ自室の広さがバグを起こしたように感じることがある。それは自分の意識や思考が宇宙のように拡張しているときなのかもしれない。

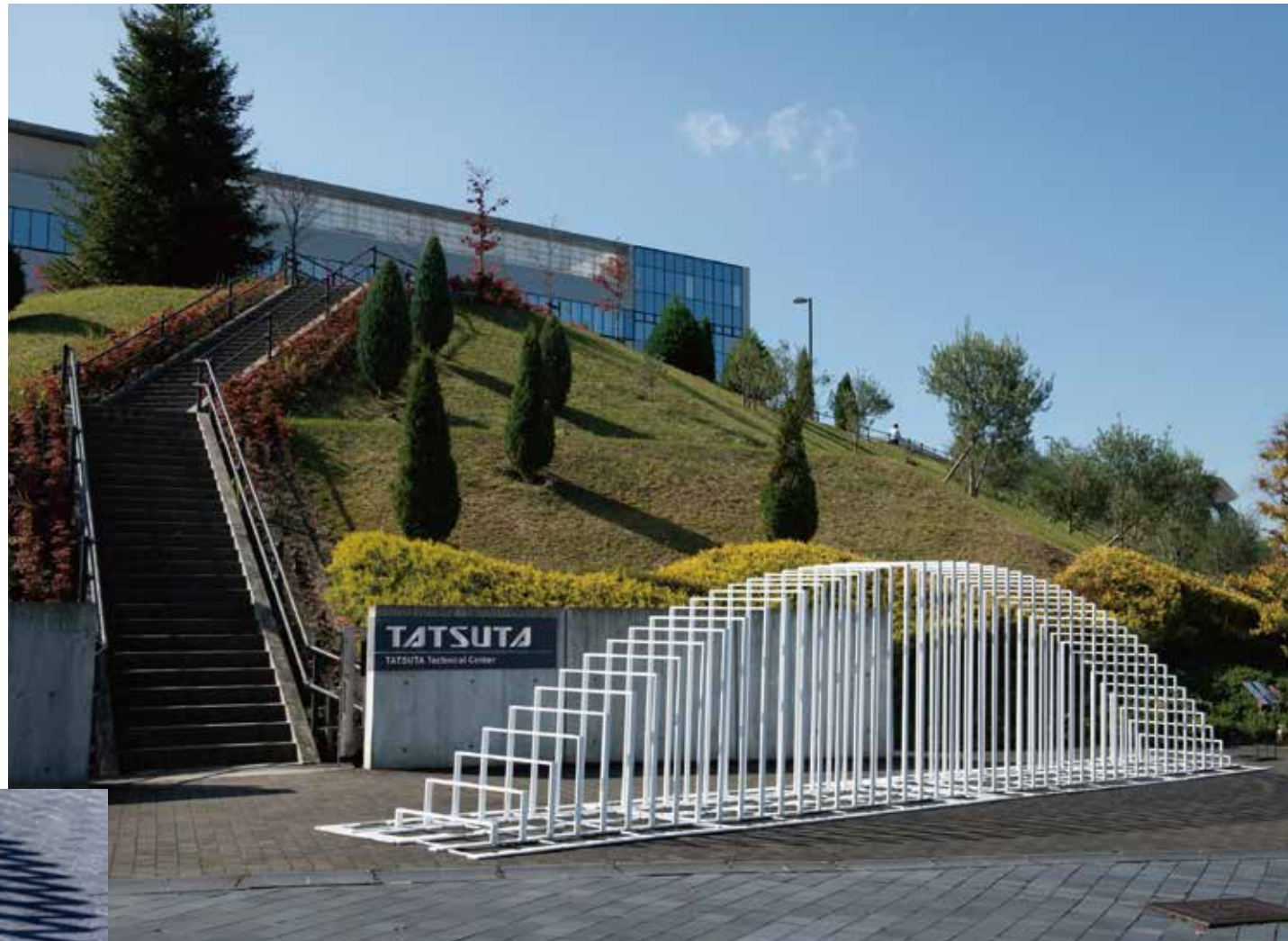


本作は、投影する映像を工夫することで、ドーム空間の奥行き感を狂わせるような体験の提示を目指した作品である。空間が歪んでいるような、映像に圧迫されるような感覚が得られることを期待している。

中島和俊 Nakajima Kazutoshi

スクラップの上に山

鉄の彫刻



作品「スクラップの上に山」は、スチールフレームとスクラップ鉄板を通じて、木津川市の進化と発展を象徴し、地域の連帯と努力を称賛しています。山のような形状は、私たちの成長と未来への希望を表現し、同時に左右の高低差と均等に配置されたスチールフレームは、現実と夢、過去と未来との対話を示しています。環境への調和と観客との対話を通じて、この彫刻は、私たちが変化の中で強く、美しく、進化し続けることの大切さを思い出す契機をつくればと願います。この鉄の彫刻は、木津川市のアイデンティティと未来への献身を讃え、人々に新たな展望をもたらすことを願って制作しました。

制作協力：抱月工業株式会社

展示場所 ④ タツタ電線株式会社

林 智子 Hayashi Tomoko

Lila

光の粒子たちであり、また波たちであるものの終わりなき戯れ
インスタレーション

三香の原久迹の都は山高み
川の瀬清み住みよしと
人は言へどもありよしと
我れは思へど古りにし
里にしあれば 国見れど
人も通はず 里見れば
家も荒れたり はしけやし
かくありけるかみもろつく
鹿背山の際に 咲く花の
色めづらしく 百鳥の
声なつかしく ありが欲し
住みよき里の 荒るらく 惜しも
万葉集 田辺福麻呂

本作品は、フィールドワークを通して出逢った、太古より常に動き変化しつづける木津川の砂や、川の瀬に立つ神の降臨する山として人々に愛され続けてきた鹿背山(かせやま)の里山に、ひっそりと揺れながら咲く笹百合(日本固有種)をモチーフにしたインスタレーション作品である。

Sound : 東岳志 Image Numerization: 菅原麻衣 Coding : 小片隆久 Mirror : 山本晃久
Research Support : 竹門康弘・加藤史江・外売募 Thin Section : 松岡廣繁・高谷真樹
Interview : 西念寺 田辺英夫 Light Consultant : 小川ユウキ
Special Thanks : 大阪芸術大学アートサイエンス学科・安藤英由樹・木村彰秀・金子直弥
やましろ里山の会・岩船寺・浄瑠璃寺・京都府立山城郷土資料館

制作協力：国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 関西光量子科学研究所
マンヨーツール株式会社

展示場所 ⑤ Lier 幡 離れギャラリー

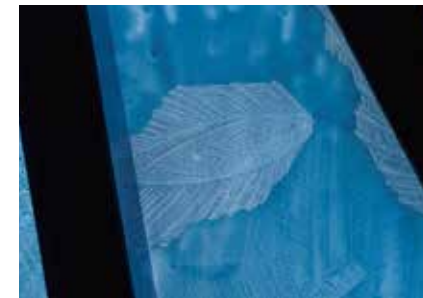
葛本康彰 Kudzumoto Yasuaki

1 冬は結晶の中に、結晶は空の中に / crystallization and dynamism

2 濾過した空は虹を為す(こともある) / can you feel rainbow in the empty?

彫刻・インスタレーション

今回展示する二つの作品は、いずれも「透過光」との関わりを念頭に制作しています。
《冬は結晶の中に、結晶は空の中に / crystallization and dynamism》は“propagate”という霜の結晶の痕跡を塗料によって定着するシリーズの作品です。天候や時間帯、あるいは鑑賞者や周辺の樹木と太陽の位置関係によってディティールの見え方が刻々と推移します。
《濾過した空は虹を為す(こともある) / can you feel rainbow in the empty?》は、目薬容器を透過した太陽光を被写体とした写真作品です。個々の容器を透過した光は混ざり合っており、揺らめくようなグラデーションを生み出します。
こうした「透過光」との出会いが、理科の実験ではじめて顕微鏡を覗き込んだ時のような、好奇心や高揚感を感じられる作品体験となることを企図します。



制作協力：ロート製薬株式会社 ロートリサーチビレッジ京都/
今出 真愛／葛本 花奈／菟 源陽／高橋 レイン／ナカスジミナミ

展示場所 ⑥ ロート製薬株式会社 ロートリサーチビレッジ京都

服部正志 Hattori Masashi

ありがとうの州見山-にあはひなかまは-のきょじん

立体造形・インスタレーション

はじめて州見山を訪れた時、ここで表現したいと閃きました。そして、色々と試行錯誤を重ねる中で、山頂に立ち一望する景色を見下ろした感覚が、きょじんになったかのような感覚を思い出しました。

近年は「ありがとう」を用いてコミュニケーションのあり方をかたちにすることに挑戦していますが、木津川アート2023のテーマ「みらいとあそび」から、「ありがとう」を未来へと繋げていく景色をつくりたいと思いました。「ありがとう」とは、「めったにない」「めずらしい」を意味する「有り難し」という言葉が語源ですが、「きょじん」の輪郭内が迷路になっているのは、山頂に埋まっている「ありがとう」に辿り着くまでの困難さをあらわしています。

見て、遊んで、作品と関わりながら「ありがとう」の景色を楽しんでいただけると嬉しいです。



制作協力：木津川市立州見台小学校3年生のこどもたち他／

阪本歩／林真衣／林正城／石井晴仁／城森陽介／服部恭子／服部仁胡

展示場所 ⑦ 州見台公園

児玉幸子 Kodama Sachiko

海と星々の庭—不可知の領域

メディアアート

木津川市の旧ボタン工場であった木造建築の二つの部屋に、磁性流体の棘(とげ)のタワーと、流体が生きているかのように姿を変える映像を組み入れた。かつての工場の中で生産されたボタンと、磁性流体を用いるインスタレーションが、当時の面影が残る建物と不思議な巡り合わせで交錯する。乳白色のボタンは磁性流体の棘の三角格子のパターンで、コンクリートの水平な床の上でわずかにゆらぎながら繰り返す。とげのタワーは、ゆっくりとうねるように、呼吸するようリズムで盛り上がり、なだれ落ちる。



映像《重力の庭》 協力：フェローテックマテリアルホールディングス 撮影：東北新社
インスタレーション 制作協力：旧株式会社辻岡鉦工場

本展示の実現にあたり、木津川アート2023のキュレーションと運営、会場設営に携わった皆様、
東京都現代美術館の森山朋絵氏に深くお礼申し上げます。

展示場所 ⑧ 旧ボタン工場



山下茜里 Yamashita Akari

Re:mind

染織・インスタレーション

階段を上がる

低い天井には吊られた小さな裸電球がひとつ
モノがぎゅうぎゅうにひしめく「厨子二階」を照らす

モノにとっての「終の住処」

そこは膨大なモノが残された終着点
モノたちはそっと息を潜めて眠っていた

20年ぶりに人が来た——

急な来訪にびっくりしたこの建物は、慌てて「工場」へと蘇る
モノたちは飛び起きる
彼らの気配がかつてのように充滿し、まるで煙のように上へ上へと駆け上がる
いまにも溢れそうなモノたちを、行き場を失ったモノたちを
受け止める場所がそこにあった



「家」は人がしつらえ、暮らすところ。
「家」は人が生きることで成りたつ場所。
「家」はそんな人の気配が満ちていた。

人がそこを去れば、その気配はかき消える。
そうして抜け殻のようになった「家」は形としてはそこにある。
けれどそれは、本当の意味での「家」なのか。

家に人は、たくさんのモノをしまっていた。
人の気配が消えるにつれ、次には、モノの気配が充滿してくる。

一枚隔てたその向こうに、たくさんのモノが隠されている。
その薄い膜が剥がされ、めくられ、暴かれるとすれば、
隠されていたモノたちは何を思うのだろう。

今まで見ることのなかった初めての陽下の光景に
どんな眼差しを送るのだろう。

わたしは、この「家」を少しだけめくることにした。

笹岡 敬 Sasaoka Takashi

インスタレーション



Reflex 2023

私の作品は大抵、簡単な装置を空間に提示し、その空間を異化させることを目的としています。ここは昔のボタン工場の跡ですが、この場所には昔ここで行われていた日々の営みが様々な跡として残されています。ここに小さな飛翔するLEDを配置することで、その跡を記憶として共有することを、この場に居合わせたほとんどの人は出来ないであろう、個々の記憶と此処の記憶を結びつけ、小さな過去の経験を想起させることができるのではないかと考えます。

Water 2023

ガストン・バシュラールは水について、このように語ります。「少し夢想してみれば、一切の静謐さは眠れる水である、ということを知るにいたるであろう。だれの記憶の奥にも眠れる水があるのだ。宇宙のなかでも眠れる水は静寂さのひろがり、不動のひろがりである。眠れる水のなかで世界が休息する。眠れる水の前で夢想家は世界の休息と一体化する。」ここに提示する水は眠れる水であると共に、私たちの中にある水であるとも言えます。水は眠りながらも巡回します。ヒトや物質は水の通底器なのですから。



展示場所 ⑧ 旧ボタン工場



Reflex 2023 幣羅坂神社

この作品は抱月工業株式会社の協力のもと作品を制作しました。周りのフレームは抱月工業株式会社から日々排出される、型抜きされた残です。モノとしての意味は型抜きされた物にあり、その残った物には意味は付随しません。しかしその意味が付随しないであろう「残」を寄せ集め、構成することで、具体的な用とは異なる私たちの文明とでもいうか、知らず知らずに張り付いてしまっている現代を象徴する何かが見えるのでは無いでしょうか。その現代の何かを古い記憶を持つ幣羅坂神社に設置することで、この街のかけがえのない歴史を感じることができるのではと思います。



技術協力：新堀博市 制作協力：抱月工業株式会社

展示場所 ⑩ 幣羅坂神社



人間は古来より、自然と共存しながら循環することを願ってきました。これからの社会において、より大切な思想と言えるでしょう。「輪」はその象徴的な形であり、あらゆるものの根本にあります。

配置された作品はすべて「輪」が基本形になっています。「輪」と「輪」が重なったり、くっついたり、膨らんだりしています。また「輪」がねじれることで、内と外のない形が生まれます。そのような形の実験は、生物学のようでもあり、現代数学や物理学にも通じています。

シンプルでありながら複雑であるもの、そのような仕組みを読み解き、現実の自然と平行して存在しているもう一つの自然を、庭園のなかに再現します。



奥中章人 Okunaka Akihito

INTER-WORLD/Solar Current

空気と水と太陽のやわらかい彫刻

私は作品を創り続ける中で、私達人間は、空気や水や太陽ととても似ていると考えるようになりました。人類は数百万年も「空気と水と太陽」の中で育まれてきたので、在り方や振る舞いが似るのも当然だと感じるのです。

子ども達と太陽熱気球あそびをする時に「僕たちの心が温かくなると、宙に浮くような気持ちになるのと同じで、空気さんも温まるとお空に浮いていくの」とお話をします。

刻々と変わる環境の力によって作品の色や形は変化し、その表象は自己の変動性や多面性、そして人間社会の多様性を肯定します。そして「空気と水と太陽」を通じて環境の儚さや大切さにも触れようとしています。

今回も共創オープンアトリエを経て、市民の皆様と一緒に作品を創りだしました。浮遊するアートをご体感ください。

制作協力：木津川市山城総合文化センター アスピアやましろ／
住化積水フィルム株式会社／株式会社寺岡製作所／
株式会社ホログラムサプライ／株式会社Funwow／あおいおあ
テクニカルスタッフ：Aimo／akira_you／中室健／成田貴亨／
西川元晴／船越鈴賀／山本瑞穂
オープンアトリエ協力：Oscow over the moon／Yui Imai／
芦田純菜／野田春菜／山田さつき／ゆういち／ゆま／くるみ／
ヨウセイキ



展示場所 ⑫ 上人ヶ平遺跡公園

池口友理 Ikeguchi Yuri

スーパーの絵と自動販売機の絵

絵画

一度描いた絵は、もう一度同じには描けないことに興味があります。

最初に描いた絵をカッターで切り刻み、

その破片を1枚1枚、別々に切り刻んだ板に描き写しています。

その描き写した絵の板の破片を最後に接着剤で貼り合わせています。

完璧に模写できていないので、破片と破片のつなぎめの絵がつながりません。

機械じゃない、自分の不完全さをポジティブにとらえた作品です。

意図しているけど、意図していない自然がアートだと考えて制作しました。

今回はワークショップを行いました。

180cm×180cmの「スーパーの絵」です。

私が描いた絵の破片を見て、みなさんに同じように真似して描いていただきました。

それぞれの違いが合わさって、大きな作品になりました。



子どもたちと一緒に制作したワークショップ作品

制作協力：木津川市立木津南中学校美術部のみなさん

木津川市立梅美台小学校3年1.2.3.4組のみなさん

木津川市立州見台小学校4年1.2組のみなさん

イオンモール高の原でのワークショップに参加して下さったみなさん

「きょうハレの日、」でのワークショップに参加して下さったみなさん

ガーデンモール木津川でのワークショップに参加して下さったみなさん

ガーデンモール木津川 フレンドマート木津川店

ホルベイン画材株式会社

展示場所 ⑬ ガーデンモール木津川 1F セントラルコート

